

❖ お薬手帳用シールの例

前立腺肥大症のお薬です

肥大した前立腺を縮小させる薬です。
尿の排泄を促し、頻尿、残尿感などの症状を改善します。



効果発現までには継続して服用する必要があります。
効果がないと自己判断し、服用を中止しないでください。

肝臓の病気ではありませんか？

この薬は肝臓で作用をなくします。肝臓に病気があると、薬の作用が強くなりすぎる場合があります。

また、肝臓に副作用が出ることもあります。尿の色がコーラのような色だったり、皮膚が黄色くなったりしたら医師に連絡してください。

前立腺肥大症を放っておくと…？

膀胱にいつも尿が溜まった状態になるため、膀胱結石ができたり、膀胱炎などの尿路感染症にかかったり、急性尿閉を起こすこともあります。

さらに進み、腎臓にも尿が溜まるようになると、腎不全を引き起こすこともあります。

PSA (前立腺特異抗原) 値とは？

PSAは、前立腺の上皮細胞から分泌される蛋白質です。この薬はPSA値に影響を与え、検査値を減少させるといわれています。

前立腺の疾病(前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎など)によって滲出し、検査に反応します。検診などのときにも、この薬を服用中であることを必ず伝えてください。基準値は4.0ng/mL未満です。

カプセルは嚙んだり開けたりせずに服用してください

カプセルの内容物は口やのどの粘膜を刺激することがあります。

排尿日誌をつけてみましょう

昼夜24時間にわたる排尿時刻と排尿時の尿量などを記録します。排尿状態を把握することで、それぞれの状態に適した診断や治療を行うことができます。

女性や小児はカプセルから漏れた薬に触れないでください

このお薬は皮膚から吸収されます。
漏れた薬に触れた場合は、すぐに石鹸と水で洗い流してください。

〈日常生活での注意点①〉

アルコールの飲みすぎに注意しましょう
辛いもの、刺激の強い食品は控えましょう



前立腺部尿道にうっ血やむくみが生じて尿閉の誘因になります。

まれに勃起不全、性欲減退などの症状が出ることがあります

副作用として、勃起不全、性欲減退、乳房障害(女性化乳房、乳頭痛、乳房痛、乳房不快感)などの症状が出ることがあります。

このような症状に気づいたときは医師、薬剤師に相談してください。

〈日常生活での注意点②〉

夕食後のコーヒーや水分は控えましょう
便秘にならないように食物繊維を多くとりましょう



夜中に何回も目が覚めてトイレに通うのを防ぎます。
直腸に溜まった便が尿道を圧迫して、症状を強めることがあります。

〈日常生活での注意点⑤〉

おしっこは我慢しないで、すぐにトイレに行きましょう



排尿を我慢すると膀胱が膨張し、収縮筋の力が弱くなって尿がスムーズに出なくなります。
尿閉など膀胱や腎臓に悪い影響を与えます。

〈日常生活での注意点③〉

長時間座ったままの姿勢は避けましょう
下半身を冷やさないようにしましょう
散歩など適度な運動を心がけましょう



下半身を温め、骨盤内の血液循環をよくすると効果があります。
適度な疲労感により熟睡でき、夜間頻尿による不眠解消に役立ちます。

〈日常生活での注意点⑥〉

風邪薬や胃薬など、薬の中には尿の出を悪くするものがあります



排尿困難や急性尿閉を起こす可能性があるため、医師、薬剤師に確認しましょう。たとえば、総合感冒薬に入っているエフェドリンや抗ヒスタミン薬も尿閉の原因となります。

〈日常生活での注意点④〉

肉中心、コレステロールの多い食品の摂りすぎに気をつけましょう



食生活の欧米化により男性ホルモンの働きが活発になり、前立腺の肥大が進むといわれています。

〈日常生活での注意点⑦〉

過活動膀胱を合併する場合は、膀胱訓練や排尿習慣訓練も行ってみましょう



膀胱訓練は、少しずつ排尿間隔を延長することで膀胱容量を増やすトレーニングです。

排尿習慣訓練は、介護者や家族の協力が必要になりますが、尿意に頼るだけでなく、タイムスケジュールに基づいて規則正しい排尿習慣を確立することで、尿失禁をなくします。